

人工知能使い 空調設備監視

テクノ菱和、新システム

空調工事のテクノ菱和は人工知能を活用した空調設備の監視システムを開発した。設備異常や故障の兆候を集めて原因を自動的に解析し、故障を事前に防止する。人工知能を活用した監視システムは原子力発電所

など大規模施設で使われていたが、同社は半導体製造工場や製薬工場、一般のビルなどに安価なシステムとして売り込む。

空調設備監視システム

「テックビームス」は同社がこれまで蓄積した様々な種類の故障やその原因、補修方法などをデータベース化した。センサーが故障の兆候を感知すると、データベースを基に原因を解析し特定する。同時に補修方法も明示する。価格は五百万円前後の見込み。

通常、監視システムは異常を感知すると技術者に連絡する。原因を自動解析するのは少ない。新システムでは高精度に原因を特定するため、効率かつ迅速に保守点検できるという。センサーで収集した情報を蓄積し、設備劣化や故障予測が可能なほか、インターネット経由で遠隔地から運用状況の確認もできる。